

事業所名

児童発達支援 SOU FIRST
(児童発達支援 あるいはkids)

支援プログラム (児童発達支援)

作成日

R6

年

12月

1日

法人 (事業所) 理念		福祉のスタンダードを変革し、児童の可能性を最大限に引き出す								
支援方針		「たのしい」「すき」「やってみたい」を大切にしながら、専門的な支援で「できる」を増やす								
営業時間		8時	00分	から	17時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	更衣や排泄、食事などの動作確認やサポート 手洗いやうがい、衛生面の習慣化								
	運動・感覚	幼児期に必要な「基本の36の動き」の様々な動きを、楽しく大きく運動として取り入れられるように、やる気スイッチグループ監修の運動プログラムを実施。 DCD (発達性協調運動障害)、運動が苦手な児童向けにITを活用したデジタル教材「トレキング」を実施。								
	認知・行動	ABA を基に行動を分析し、行動の強化や弱さを意識しサポートを行なっている。 特に「ほめる」ことを大事にし自己肯定感や、やってみよう！と挑戦できる姿勢を大事にしている。 ひらがなや数字など、学習面のサポートを年齢や児童の興味に応じて実施。								
	言語 コミュニケーション	日常の会話の中での名称や単語などのインプット、自分の気持ちや出来事をお話するときには表現方法や伝え方などのインプットを行い、児童の語彙や表現の獲得を目指す。 保護者の同意を得て、専門職が言語訓練を個別もしくは小集団								
	人間関係 社会性	SSTの中で、表情の読み取りや挨拶などの基本的な社会性からある場面を想定したロールプレイの実施。 ルールのある課題 (順番や、ゲーム等) に取り組み、ルール理解やルールを守る意識の向上に努める。								
家族支援		保護者の同意を得て、ご家庭での支援方法についてサポートや助言を行なうと共に、随時の面談を通じて情報の共有を図る。 施設内、オンライン等により座談会やペアレントトレーニングを実施。			移行支援		保護者の同意を得て、園や他事業所その他関係機関と連携を図り、療育以外での日常生活の困りごと等を共有し支援へ反映させている。 移行後、必要に応じてフォローを行える体制の確保。			
地域支援・地域連携		地域での行事 (祭りなど) への参加や、企業への見学や体験学習			職員の質の向上		入社時研修の実施 既存社員フォローアップ研修の実施 外部研修へ会社が費用を負担し積極的な参加			
主な行事等		自社でのイベント開催 (夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど) 事業所単位でのお誕生日会や季節に応じた行事 (イースター、こどもの日、七夕、敬老の日、ひな祭り等) 制作や散策など								